

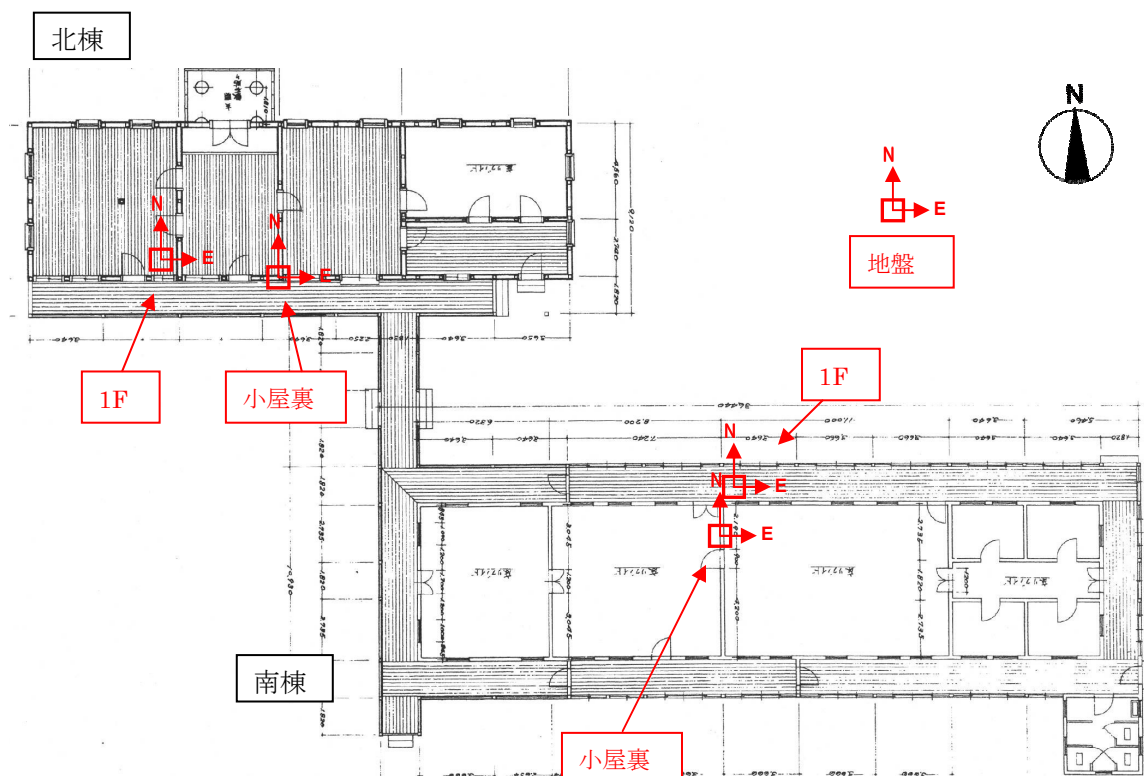
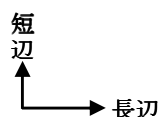
③7 名古屋衛戍病院《愛知県有形文化財》



旧所在地	名古屋市中区三の丸		
構造、階数、用途	木造、平屋建、医療施設		
建築年	1878	移築年	1964
最高高さ(m)	7.00	標高(m)	105.30
建築面積(㎡)	620.31	延床面積(㎡)	620.31

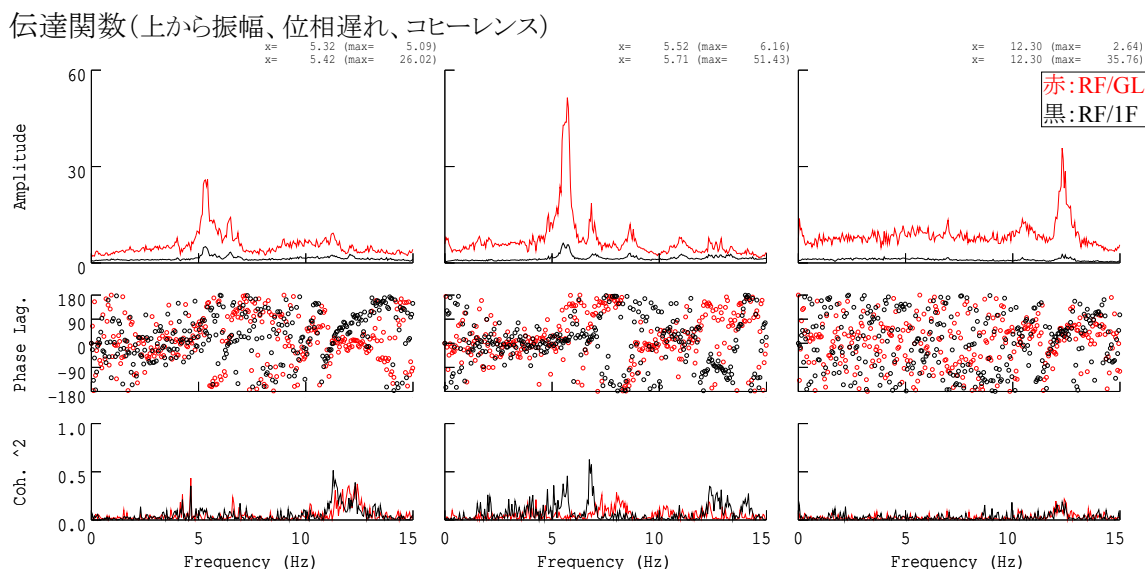
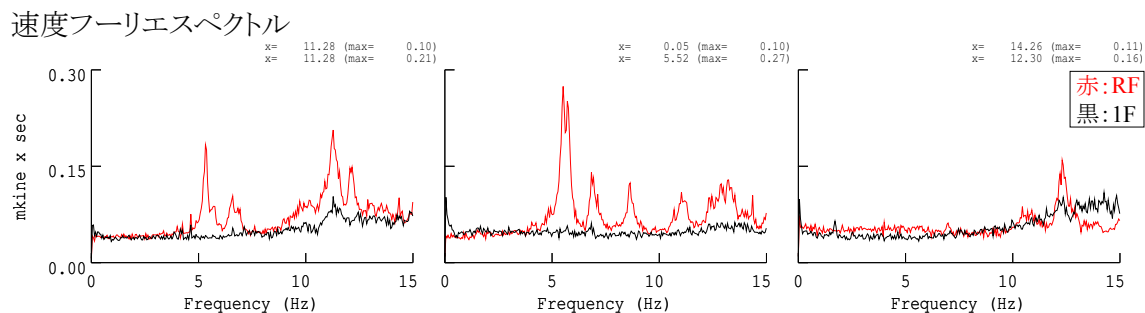
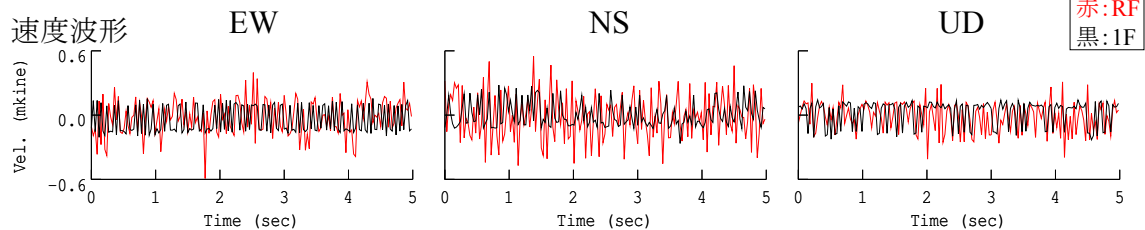
- 病棟と管理棟の2棟からなる片廊下型の病院建築であるが、建物同士は直接接合しておらず、渡り廊下のみで接している。
- それぞれの建物毎に小屋裏と1階にセンサーを設置した。
- それぞれの成分に複数の卓越振動数があり、北棟・南棟が影響し合っているものと思われる。

○センサー設置状況

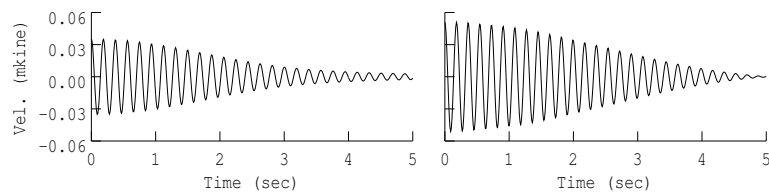


1 階平面図

③7 名古屋衛戍病院 北棟



RD 法による自由振動波形



□推定固有振動数

EW 5.33Hz

NS 5.52Hz

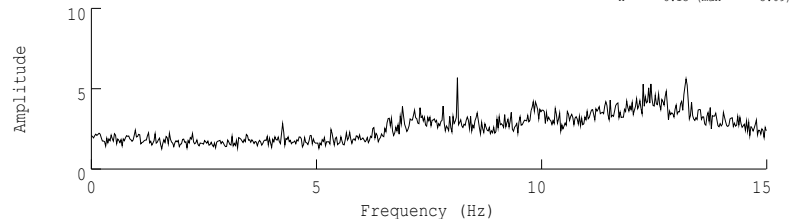
□推定減衰定数

EW 1.50%

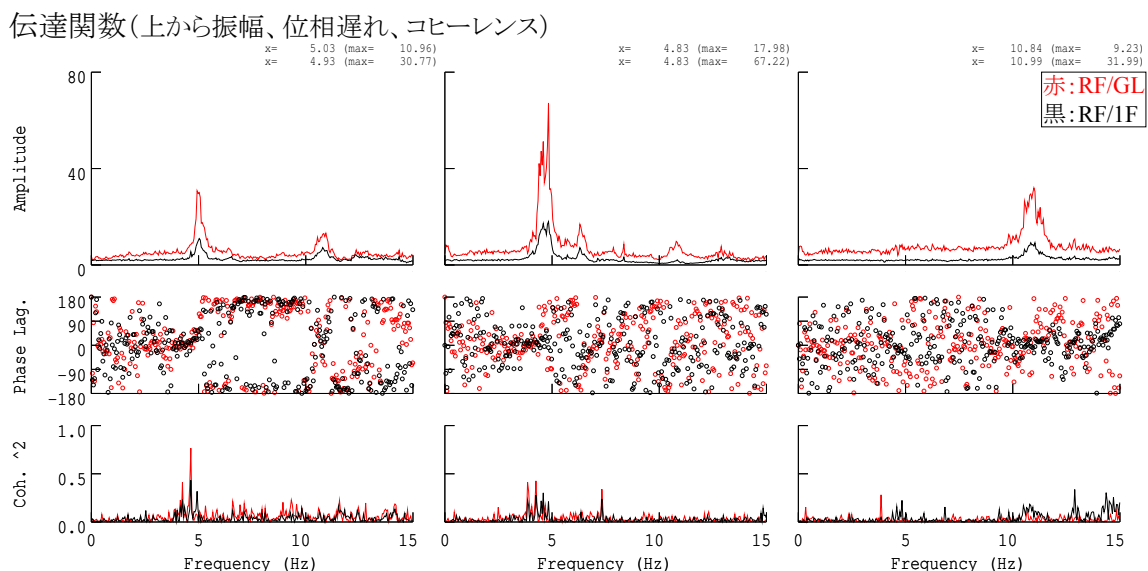
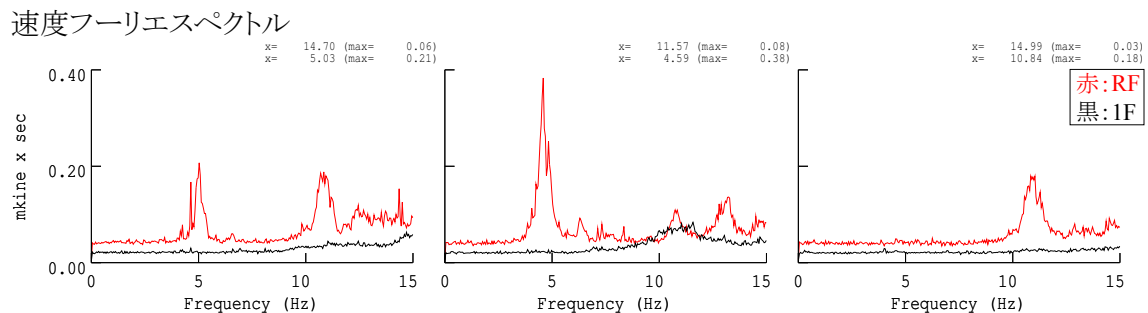
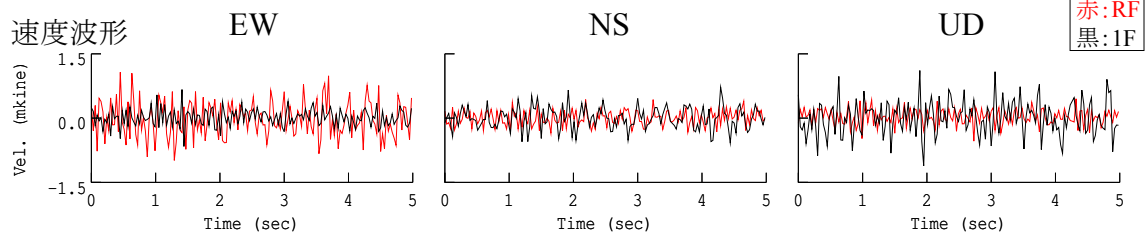
NS 2.35%

[RD 法(対数減衰率)]

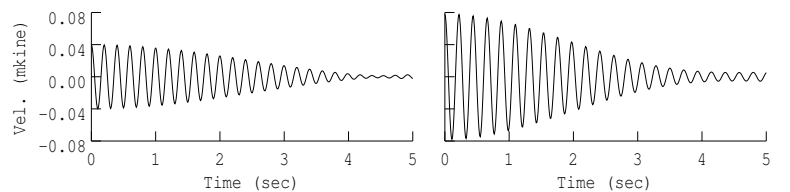
H/V スペクトル



③名古屋衛戍病院 南棟



RD 法による自由振動波形



□推定固有振動数

EW 5.06Hz

NS 4.58Hz

□推定減衰定数

EW 2.50%

NS 2.44%

[RD 法(対数減衰率)]

H/V スペクトル

